

福山駅周辺のにぎわいの創出

1190111 永田将也
 高知工科大学 システム工学群
 建築・都市デザイン専攻 4年
 指導教員 重山陽一郎

1. 背景と目的

現在、福山市という都市の印象は、薄いものになっている。また、福山市の住人は、福山駅周辺に対しての満足度が低く、誇りや愛着を感じにくいような場所となっている。(福山市ホームページ-福山駅前再生ビジョンを策定より引用)それは、駅周辺の複数の廃ビルや空き地による都市のスポンジ化や車優先の空間による回遊性の低下によって、福山駅周辺を訪れる人が減少し、にぎわいが失われていることだ。

そこで私は福山駅周辺の設計を行うことで、にぎわいのある街、住む人が誇れる街にしていきたいと考えた。

2. 対象敷地の現状と課題

福山駅周辺は、天満屋やさんすて福山などの商業施設、県立歴史博物館などの文化施設、福山城公園などが集積する地域であり、福山市の中心的役割を担っている。

南口を出て右斜め前方には、閉店した大型商業施設が2つ並んで(図3)、数年廃ビルとして残されている。また、南口正面には、バス乗り場やタクシー乗降場があり(図4)、北口正面にも同様にタクシー乗降場があり(図5)、福山駅周辺は車中心の空間として構成されている。

このように現在福山駅周辺は、活用できる空間があるにも関わらず活用しきれていない。また、車中心の空間によって、子育て世代やシニア世代にとって安心して回遊できない状態となっている。

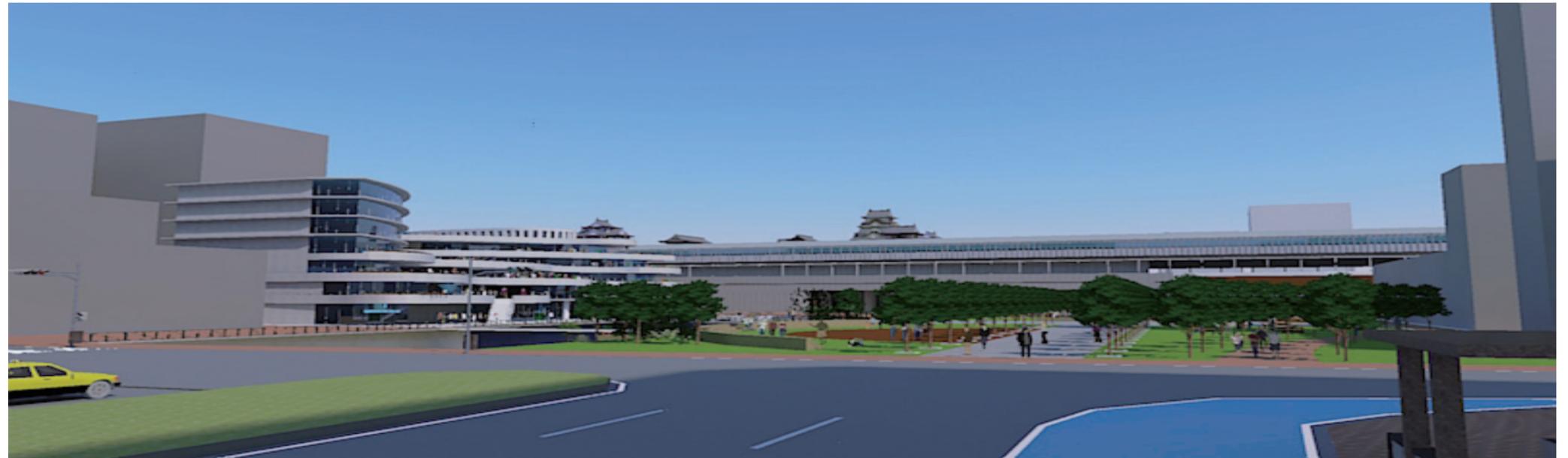


図1. 福山駅南側正面(福山駅南側にある大通りから複合商業施設、芝生広場、駅を見たパース)

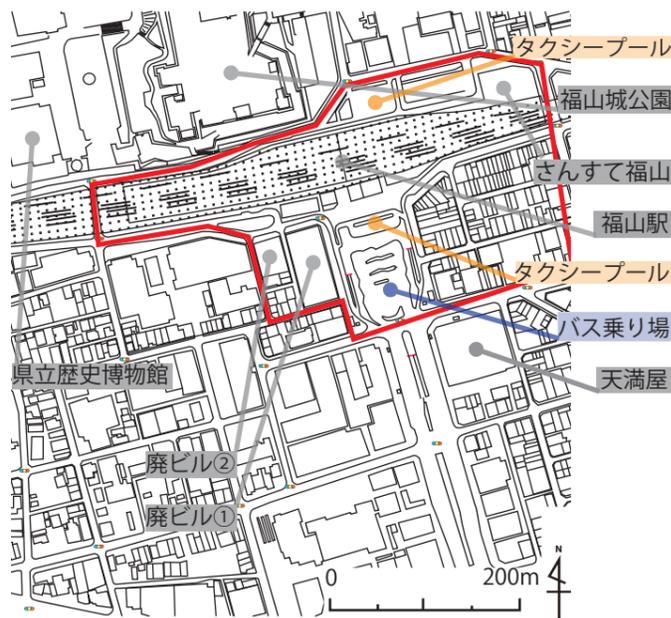


図2. 対象敷地図

3. 設計方針

- 福山市住人や観光客など、駅前に訪れた人が過ごしやすい場所の提案
 - 現在の廃ビル2つを活用して、福山駅前に人が集まりたいと思える空間を提案する。
- 福山駅周辺の歩行者空間化
 - 福山駅前にある公共交通機関を集約し、車の交通区間を制限することで、福山駅周辺を車中心から歩行者優先の空間へする。

4. 福山駅周辺の動線計画



図6. 公共交通機関動線(現状)



図8. 公共交通機関動線計画(変更後)



図7. 一般車・歩行者動線(現状)



図9. 一般車・歩行者動線計画(変更後)



図3. 福山駅南側廃ビル(廃ビル①正面入り口)



図4. 福山駅南口正面



図5. 福山駅北口

現在、公共交通機関は南北とも出入り口正面に位置していて、駅周辺は車優先の空間として構成されている。

現在あるさんすて福山を複合商業施設にまとめることにより、うまれた駅東側の高架下と高架下北側の空間に公共交通機関を集約することで、歩行者空間を確保した。

歩行者のみの空間は高架下だけの動線となっていて、それ以外の動線は一般車と隣り合わせの動線となっている。公共交通機関同様に車優先の空間として構成されていて、歩行者優先空間はほとんどない状態となっている。

公共交通機関の集約をし、駅の南北を歩行者優先の空間とした。また、一般車の動線を制限し、現在ある天満屋の地下駐車場を送迎場と兼任させることで、駅周辺を歩行者優先空間とした。

5. 設計

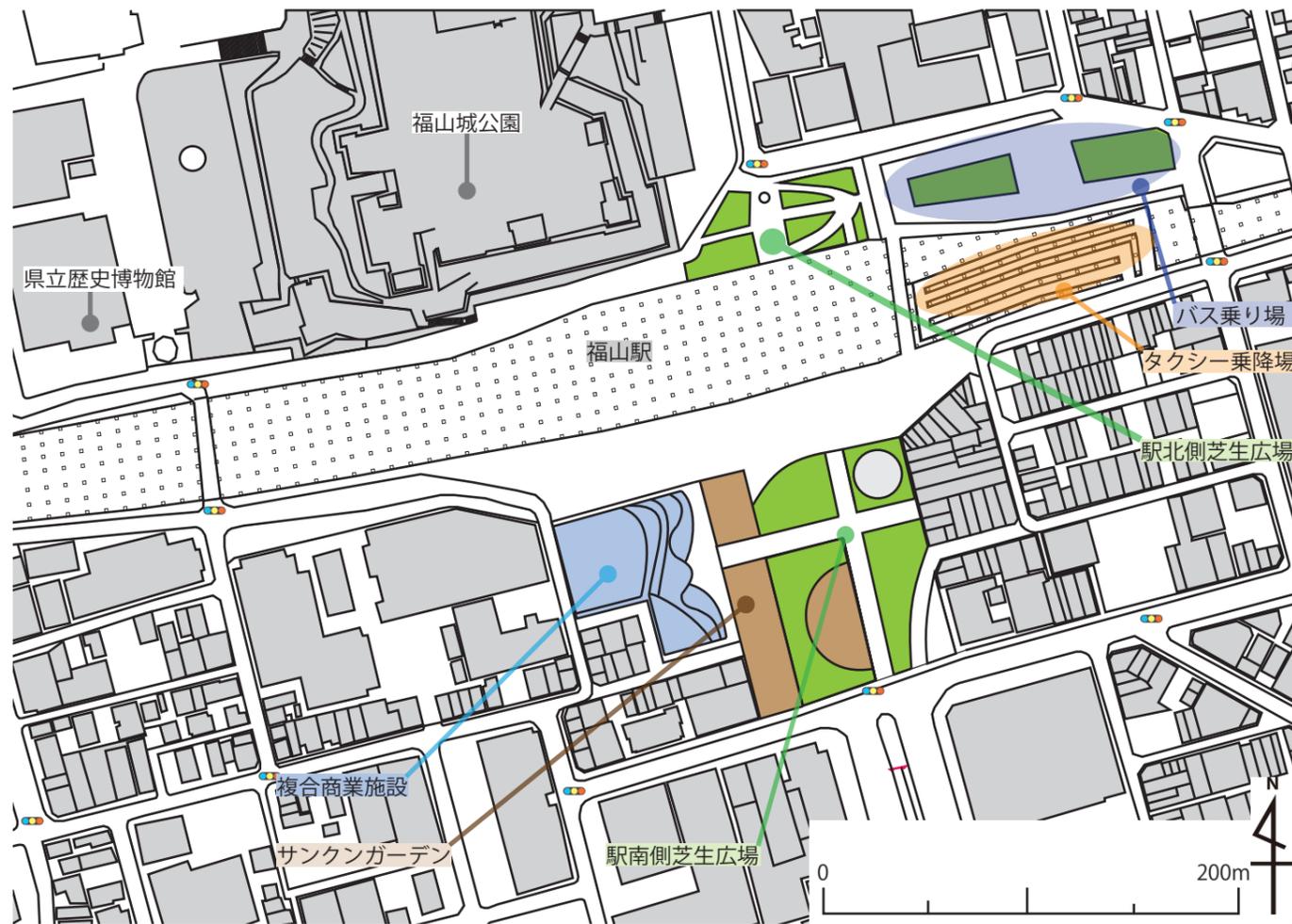


図 10. 平面図



図 11. 複合商業施設から南側芝生広場とサンクンガーデンを見たパース

複合商業施設の目の前にはサンクンガーデンと芝生広場を設け、高低差をつけることで、それぞれを多層的に配置した。それによって、面的に連続させることで、自由に回遊できる空間とした。サンクンガーデンからも複合商業施設内にアクセスでき、利用者の目的に合わせて、好きな空間を選択できる場所とした。



図 12. 複合商業施設 1 階正面からサンクンガーデンを見たパース



図 13. 新幹線ホームから駅南口広場を見たパース

サンクンガーデンは芝生広場と複合商業施設の間にある空間になっている。にぎわいのある芝生広場とは高低差があるため、同じ福山駅南口でも、地上の空間とは少し距離をおいた特別な空間になるようにした。また、地上と地下の一体性を持たせるために、サンクンガーデンにも高低差を設けた。そのようにすることによって、サンクンガーデンの中にも利用者が目的に合わせて、場所を選べるようにした。

県外から訪れた人が、新幹線を降り、ホームから見下ろすと、福山駅南口前の広場を一望できるようになっている。初めて福山市に訪れた人でも、ここから見下ろすことにより、複合商業施設、芝生広場、サンクンガーデンなど利用したいところを選択できるように、シンプルな配置とした。複合商業施設も各階にテラスがあり、屋外と繋がっている場所となっていて、一体感のある空間とした。



図 14. バス乗り場から北側芝生広場を見たパース

福山駅北口は、バス乗り場から来た人にとって、前方に広場と福山城、左側に福山駅が見える位置にあり、訪れた人が、目的の場所を見つけやすいように見通しの良い場所とした。また、広場中心の時計台や高低差のある休憩所が目印となり、待ち合わせ場所などのたまり場としての空間とした。